

国語 七一	第五学年及び第六学年の内容 文や文の構成①	名前	年	組	番
----------	--------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の――の接続語の働きとしてふさわしいものをあとのアからカの中から選び、（ ）の中に書きましよう。

- ① 雨が降<sup>ふ</sup>ってきた。でも、傘<sup>かさ</sup>はささないで行く。 (ア)
  - ② バスで行くか。それとも電車で行くか迷<sup>まよ</sup>っている。 (ウ)
  - ③ 自由に遊んでよい。ただし、室内だけにする。 (オ)
  - ④ 毎日走る練習をした。だから、体力がついたのだ。 (イ)
  - ⑤ 食後にイチゴが出る。また、リンゴも出る。 (エ)
  - ⑥ 家に帰ってきた。そして、宿題をやった。 (カ)
- ア 前と対立することを述<sup>の</sup>べる。
- イ 前のことを理由や原因<sup>げんいん</sup>にする。
- ウ 前か後か、どちらかを選ぶ。
- エ 前と同様のことを付け加える。
- オ 前<sup>おぎな</sup>のことを補う。
- カ 事柄<sup>ことがら</sup>を新しく展開<sup>てんかい</sup>させる。

次の文の主語・述語じゆつごを探して、その関係をあとのアからウの中から  
選び、( ) の中に書きましよう。

- ① 今日は、とても暑い。(ア)
- ② 気温も高く、湿度しつども高い。(イ)
- ③ 日差しが強いので、私わたしは帽子ぼうしをかぶった。(ウ)
- ④ 帽子が風で飛んだ。(ア)
- ⑤ わたしは、犬を飼かっている。(ア)
- ⑥ わたしが飼っている犬は、大きい。(ウ)
- ⑦ 犬が追いかけているボールは、赤い。(ウ)
- ⑧ 犬がくわえたボールを受け取った弟が、走る。(ウ)

ア 主語と述語が一組しかない。(単文)

イ 主語と述語が二組以上あって、同等にならないでいる。(重文)

ウ 主語と述語が二組以上あって、修飾関係しゆししよくや付け加える関係

などで同等ではない。(複文)

国語 七―三	第五学年及び第六学年の内容 文や文の構成③	名前	年	組	番
-----------	--------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文章の構成こうせいとしてふさわしいものをあとのア〜ウから選び、  
 ( ) の中に書きましょう。

① 環境かんきょうを守るためにごみの分別は、必要だと思ひます。なぜなら、紙やペットボトルを分けずに捨すてれば、ただのごみですが、分別すれば再生さいせいすることができまふ。古紙は再生紙として利用できまふ。ペットボトルも洋服の材料になります。

② 買ひ物にエコバックを持つていくと、お店によつては、値段ねだんを引いてくれます。また、お店のポイントをもらえることもあります。エコバックを持つていくことによつて、必要のないビニール袋ぶくろをもらつてしまうことがなくなりまふ。だから、一人一人が環境を守るための活動としてエコバックを持つていくことが大切だと思ひまふ。

③ 環境を守るために物を大切にしようと思ひまふ。着られなくなつた服もすぐに捨てるのではなく、小さい子にあげるようにしていまふ。消しゴムも最後まで使うように名前を書いて大事に使いまふ。小さな消しゴムでも、石油資源しげんを使って作つていまふからです。ものを大切にする気持ちには、地球環境を大切にする気持ちにつながると思ひまふ。だから、私は環境を守るためにものを大切にしようと思ひまふ。

